

塩谷郡市医師会だより

平成10(1998)年10月6日 第2号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野1319番地3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

雑感

塩谷郡市医師会会长 黒須節三

数年前に縁あって渋谷の難世流能楽堂を訪れた時の感激が未だに忘れられずに筆を執りました。その時上演された曲目は卒都婆小町、これは小野の小町が年老いて巷間をさまよう老女物でした。僧が従僧を伴って都に上る途中暫し憩いをとっている時、女笠に杖をつきながらとぼと歩く一人の老乞食が現れ、卒都婆に腰をかけて休もうとする、その所業に僧達が乞食をとがめるのだが、「文字も見えず刻める像もなく」卒都婆をただの朽木とするその女は僧を相手に卒都婆問答を繰返し、「仏も衆成も隔てなし」と却って僧を教化するありさまが、形をとがめるのか、心をとがめるのか私にとっては深い感銘を受けました。



平成10年度第3回役員会報告

(9月21日午後6時30分~10時)

出席理事役員(黒須・松村・村井・大野・戸村・尾形新・阿久津正美・小林祐・斎藤・小林正・池田・尾形直・瀧澤・西川・橋本・桜岡事務長)



議題と討論の内容について報告します。
議題(1)介護保険認定審査会について。

各市町村で高齢者介護サービス体制整備支援事業(モデル事業)が行われようとしています。介護を受けようとする者からの要請により訪問調査がなされ(心身の状況73項目と特別な医療12項目)コンピュータによる一次判定が下されます。その後認定審査会による審査により二次判定がなされるわけですが、ここに「かかりつけ医意見書」が必要になるということです。我々臨床医が係わるのはこの部分ですが、なるべく医師以外にもわかるように記入することが望まれることであります。

塩谷郡市医師会としては「意見書」の内容は一度や二度の診察では書けないような内容なので、どのくらいの期間を観察して「かかりつけ医意見書」を書くべきか、初めてのケースにはどのように対応すべきかのガイドラインを医師会独自ででも作成して、行政に示すよう県や日本医師会に要望することになりました。

議題(2)塩谷郡市医師会医学講座300回記念講演・記念誌について。

平成10年11月10日(火)午後7時から氏家町公民館ホールにて「介護保険制度」について日本社会事業大学学長京極高宣氏にお話願うこととなりました。矢板健康福祉センターや各市町の後援も得て、医師会員のみならず、行政関係や一般の方にもお聞き願うこととしました。この費用は20万円ほどかかります。

記念誌の発行についての費用は詳細はまだですが約100万円ほどです。記念誌と記念講演の費用は医学講座としての会計で賄うことになりました。詳細は学術委員会報告をご参照下さい(3ページ)。

議題(3)補正予算について。

事務局員の交代に伴い、管理費の部門が赤字になり、そのぶん補正予算を組むことになり、了承しました。

また、会長への招待に対するお包みなどは「会長交際費」の項目でお願いしたいという会計担当理事からの要望がありました。

議題(4)事務職員各種規定について。並びに慶弔内規について。

大野理事により事務職の就業規定が示され、了承されました。給与その他の詳細はいずれ総会の際にでもご質問下さい。慶弔内規は、会員本人(事務局も会員に準ず)の慶事は3万円(弔事も同じ)、見舞及び病気見舞(入院1ヶ月以上)3万円が郡市医師会から出されます。

議題(5)その他。

医師連盟より:医系議員を落選させないよう頑張って下さい。

小林正理事より:医師連盟は、会員の声を汲み上げて県や日本医師会へ持っていくて欲しい。

学術委員より:来年からは医師会の中に会の運営費を入れて予算化して欲しい。そのためにはメーカーからの協賛金も一旦医師会の会計に入れることになります。

脳卒中予防講習会開催について:今後、学術委員会にお願いする。来年1月か3月に開催。

ホームヘルパー養成研修会(11年1月30日)の講師依頼について:医師は黒須会長に一任、看護婦は塩谷病院より派遣

会報の発行について:来年からは医師会の正式な委員会にして予算を付けることにしていただきました。紙代とインク代は1年で15,000円位です。塩谷町尾形医院内印刷所で発行しております。

各種委員会・協議会報告

会長 黒須節三

平成10年度塩谷郡市地域保健対策協議会

本年の7月9日 矢板健康福祉センター大会議室で行われました。役員の選任が行われ、続いて平成9年度事業報告及び決算報告があり、平成10年度の事業計画及び予算について協議しました。本年度

は予防接種委員会が設置されました。脳卒中登録、支援事業として行ってきた「脳卒中予防講習会」について従来の各地対協と都市医師会による開催を、各都市医師会単独による開催に改め、その回数も2回から1回とすることになりました。

塩谷都市医師会産業医会

平成10年7月10日(金)氏家町保健センター内医師会事務所

(1)名簿・会則について

名簿の整理を行い、会則について一部改正を行った。

(2)平成10年度産業医研修について

県の研修会等を参考にして、又、塩谷都市医師会産業医会の希望によって当医師会で独自に研修会を開くこととする。

(3)塩谷・南那須地域産業保健センターに対して御協力下さるようお願いしました。

第1回地域産業保険センター全国会議

第20回産業医活動推進会議

平成10年7月16日、日本医師会館、地域産業保険センターの全国整備が完了(347センター)したことに伴い第1回地域産業保険センター全国会議と第20回産業医活動推進会議と合同で開催されました。

・坪井日本医師会長

地域センターの活動は産業医が直接、産業医学、医療を通じ率先して地域住民と係わることにより、国民との信頼関係を築き深ました。

・労働省鶴田課長

労働基準監督者ごとに整備をすすめていた域センターが設立完了となったことで、今後は都市部を中心にセンター機能の充実を図り、平成10年度は全国で24センターを拡充する。

・高瀬常任理事

現在の産業保健環境は事業場の規模により格差が大きく、産業医の選任義務のない事業場(49人以下)に就労する労働者は全体の6割に及ぶことから地域センターの活躍に期待するとした。

栃木県産業医委員会

平成10年7月23日県医師会理事室で開催されました。協議事項として平成10年度医学研修会について基礎研修を行うことと県医師会で日程・講師を選ぶこととなった。産業医委嘱契約書について栃木県の資料の提出があり、本契約の有効期間は平成×年×月×日より2ヶ年とする。(付則)本契約の第1回の有効期間は第5条にかかわらず平成×年3月31日までとする。

公衆衛生大会

平成10年7月24日、矢板健康福祉センター大会議室にて開催されました。会長は矢板市の山口公久さんです。平成9年度の事業、決算及び10年度事業計画、予算についての協議がありました。事業計画

としては栃木県公衆衛生協会との連携と大田原、矢板地区公衆衛生大会の開催が主なるもので、内容は公衆衛生事業功労者、団体に対する表彰が主なものようです。

栃木県救急委員会

平成10年7月30日開催され副委員長に天目、太田、皆藤先生が選出され、救急委員会の規定の一部を改正し大災害時の医療体制について県と協定を結ぶことについて、両大学から1名づつ、済生会救命救急センターから1名、岡本台病院から1名をこれまでの委員会に増員することになりました。他県の殆どが県と協定が交わされていますが栃木県は協定を行っていません。近々協定を交わすことになりました。災害時に出動した医師が負傷ないし死亡した場合の補償問題が議論され協定書とは別に県と覚書と言う形で交渉することになりました。

第1回 都市・大学医師会介護保険担当理事連絡会の報告

尾形クリニック(矢板市) 尾形直三郎

日時: 平成10年8月27日(木)午後3時~5時

会場: 栃木県医師会全理事会室

石井重利(栃木県医師会介護担当理事)先生の司会、議事運営で、各医師会代表の自己紹介にはじまり、主に

①介護保険制度における政省令の審議経過と結果について

②今後の準備日程について

③療養型病床群の整備目標

などの報告事項について討議された。

なお、既に報告の通り、ケアマネージャー試験問題集と「介護保険セミナー」ビデオを預かり、事務局に保管してありますので、利用希望者は事務長まで連絡下さい。

予防接種委員会(6月25日)報告

上田医院(矢板市) 上田明彦

本委員会は来年度から「感染症予防対策委員会」に改める提案がありました。

質問事項

○質問: ツベルクリンを行った当日の入浴の可否について。

回答: 県で統一見解を出すように努力する。

○質問: 生ワク接種後4週間以上間隔を開けるべきところを4日間しか開けないで他の予防接種を行ってしまった。接種間隔を確認せず予防接種を行った時どう行動すべきか。

回答: いままでも数例ありましたが、ご家族に、チェックがぬけてたことを説明して了承していただきました。今後も、事情をよく説明して「いつでもおかしいときはすぐ診療します」と話しておくのが良いと思います。

編集部からのお願い

この医師会だよりは、塩谷都市医師会編集部(暫定)が担当し、2ヶ月に1度の理事会の後に発行しております。今回の役員会で次年度から正式な委員会として活動できることとなりました。この医師会だよりの積み重ねが我々医師会の歴史となるわけですから、その責任も重いと思いますがこれからも頑張って発行して参ります。つきましては会員の皆様で、編集にご協力いただける先生がおられましたら、ぜひご一報下さい。

また、役員会からの一方的な情報伝達だけではなく、会員各位のご意見も広く募集し、さらに紙面を充実させていきたいと考えておりますので、ご投稿の程もよろしくお願ひいたします。

平成10年度第2回学術委員会委員会報告

塩谷総合病院(矢板市) 瀧澤弘隆

開催日: 平成10年9月2日(水)午後6時30分—9時10分、出席者: 黒須会長、檜山、小林正、阿久津正之、大和田、瀧澤、池田各委員、桜岡事務局長
議 事

1. 塩谷都市医学講座第300回記念誌の編集について

1)冒頭の記念文集: 記念文集原稿の未収分を鋭意収集する。

2)「塩谷都市医学講座お知らせ復刻集」: 第300回分まで掲載する事とし、第200回分までの複刻集は、新記念誌1ページあたり講座2回分を掲載し、第201—300回分は1ページあたり1回分づつ掲載する。

3)記念誌の大きさ内容等: 第200回記念誌と同じA5版とし、体裁、紙質も同様にシンプルなものにする。表紙の写真の選択は檜山編集長に一任する。

4)費用について

①出版費用: 500部ないし1000部で業者から見積書を取って9月21日開催予定の次回理事会に諮る(檜山編集長担当)。

②講演費用: 講師謝礼金等15万円+αで約20万が必要(黒須会長)。

③協賛費: 池田委員が8月末日〆切で74社に要請文を出して広告を募ったが、5社から15万円の申し出があったのみ。各社とも厳しい状況との感触。(編集部より: 各市町医師団より協賛金をお願いするようになる状況でしたが、10月5日に池田委員より「目標額に到達しそうである」旨の連絡がありました)

2. 第304回医学講座の主題並びに予定について

1)瀧澤委員長からコンピュータ関連の講演として設定し、講師として千葉大学医学部医療情報部里村洋一教授を招聘して「電子カルテは普及するか?」との主題で10月27日(火)19時から開講したい旨の説明があった。

2)また、スポンサーは東邦メディカルシステムに依頼し承諾を得たが、講演のVTR撮影、器械展示とパンフレット配付、並びに、節税処置として講師謝礼等を「出展費」の形で医師会に納入したい旨の要望があったとの説明があり、謝礼金等の取扱いについては今後そのような要請ケースが増える可能性もあるので、会計担当理事に検討して頂く事になった。

3)開催場所について、取敢えず第304回に関しては矢板・塩谷総合病院で行う事とした。

3. 第305回以降の医学講座の予定について

1)本医学講座の性格: 産業医会講習会とは別個のものとする。

2)内容についての意見:

①具体的な主題として、喘息のステロイド吸入療法、頻脈性不整脈、甲状腺疾患の診断と治療、慢性疲労症候群、花粉症治療の最前線(2月に)ではどうか。

②内容を、各科共通なもの、その時々のトピックス、パラメディカル向け、に分けて、2:2:1の頻度にしてはどうか。

③講演内容についてのアンケート調査を行ってプログラムを組んでも、実際の参加者が少なかった経緯がある。

④医学講座の記録: 学術委員が回り持ちで、医学講座聴講の感想文を400字以内に纏めて「医師会だより」に投稿する事になった。

⑤第305回講座: 本来は本年12月に開催すべきであるが、11月に第300回記念講演会を開催するので休会し、第305回医学講座は来年2月に開催する。その主題は「花粉症治療の最前線」とする。

⑥医学講座開催場所: 委員長から、会場を氏家・矢板と2カ所にして交互に開催してはどうかとの提案があり、先々月に行われた矢板市医師団でもその要望が多くあったが、如何かとの提案があり審議された。それに対して、2カ所では困る、事務局の存在が必要ではないか、その点は塩谷総合病院では事務員が手伝うので心配ない、今までより遠くなる、逆に近くなつてよい、などの意見が交換されたが、時間切れで結論は持ち越しとなつた。

⑦次回学術委員会開催日: 第3回学術委員会を12月17日(木)に開催する事とし、第300回記念誌編集並びに第305回以降の医学講座の運営に関する協議を行う事となった。

4. その他

①黒須会長より第300回記念講演講師京極高宣日本社会事業大学学長について説明があった。また、脳卒中予防講習会が今年度から医師会への依託事業となり、来年1月に開催したい旨の発言があり、次理事会での決定を待つことになった。

②学術委員会会議録は、委員長が作成し、不可能な時には医師会だより編集委員を兼任する委員が代行する事で了解された。

訂正

前号、塩谷都市医学講座の年間開催回数につきまして6回と掲載しましたが5回の誤りですので、ここに訂正しあわせいたします



編集 塩谷都市医師会編集部

戸 村 光 宏 Tel 0287(46)0022 Fax (46)0472
池 田 斎 Tel 0287(43)7867 Fax (43)0207
尾 形 新 一 郎 Tel 0287(45)2222 Fax (45)2223

EMAIL mituhiro.tomura@nifty.ne.jp

EMAIL INET:ogatain@kinugawa.co.jp

第101回栃木県医師会臨時代議員会報告

尾形医院(塩谷町) 尾形新一郎

10月3日(土)午後3時より、とちぎ健康の森で開催され、塩谷郡医師会からは黒須、村井、小林祐、尾形新の4名が出席しました。いずれ栃医新聞に詳細が掲載されますので、今回は日本医師会代議員及び予備代議員の補欠選挙についてのみ報告します。代議員候補者は3名で投票の結果は、皆藤美實(52票)、森 昇二(30票)、石川文三郎(3票)で皆藤氏が代議員に選出されました。予備代議員は候補者1名で八幡浩二氏に無投票で決まりました。

母体保護法指定医師審査委員会報告

森島医院(氏家町) 森島邦夫

日時:平成10年10月 6日(火)

場所:栃木県医師会常任理事会室

協議: 1)新規申請なし

2)2年に1度の再申請について(塩谷郡市 10件)

保険委員会だより

戸村医院(塩谷町) 戸村光宏

10月29日に県の保険委員会が開かれます。レセプトの減点・返戻など納得のいかない点がありましたら、各医師団の保険委員が戸村までご連絡下さい。21日までに頂ければ、前もって県に質問しておきます。某県の個別指導対策テキストが手に入りましたので、一部を紹介します。

* 個別指導の対象になるカルテとレセプト

1)高点数のレセプト

2)傷病名の多いレセプト(8傷病名以上)

3)薬剤名記載のない投薬数の多いレセプト

4)投薬・注射・検査などが単一なレセプト

その他、カルテとレセプトの病名の不一致などが指導の対象となるようです。

新事務長紹介

さくらおかやすたみ

桜岡 葦民さん(60才)



元足利銀行野木支店長。9年7月アトランタホームズ(株)定年退職。本年10月1日付で本採用。

新事務長の抱負

・モットー:忍耐

・事務長としてのこれからを考え:会員の先生方のあと押しをして、黒子役に徹し、塩谷郡医師会が日本一の医師会になるよう努力する。

事務局よりお知らせ



留守番電話が設置されました。

事務局担当者が一人のため、出掛けている間に電話連絡がとれずにご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

このたび大野先生のご好意(取り付けも大野先生)で留守番電話を設置しました。事務局が留守の時には「ルステル」にメッセージを入れておいて下さい。戻り次第ドキドキしながら「ルステル」を聞き対応します。

高額医療機器共同利用要領改訂のお知らせ

(平成10年8月1日より実施)

(塩谷郡医師会各位)

塩谷総合病院 病院長 瀧澤弘隆

平成4年11月の当院新築移転と同時に県の指導により開始いたしました高額医療機器共同利用施設事業は、多施設よりご利用頂いておりますが、開始以来5年有余が経過し医療環境の変化に伴つて、実施方法の一部に時流にそぐわない点も出て参りました。そこで、去る7月22日、郡医師会長、県北健康福祉センター長、各市町村担当課長、当院関係者より構成されている高額医療機器共同利用施設運営委員会を開催し、最近の医療保険法改正や共同利用実施上の利便性に鑑みて、利用要領を下記のように改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。

尚、平成10年8月1日から実施の運びになりますため、7月23日付で先生方に通知文をお送り致しておりますが、今一度ご確認頂ければ幸いに存じます。

高額医療機器共同利用要領

1. 共同利用の機器

(1) 体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)

(2) 磁気共鳴断層診断装置(MRI)

(3) その他必要と認められる機器(CT、マンモグラフィー等)

2. 共同利用法

(1) 申込み

依頼元医療機関は、電話により塩谷総合病院予約係に申込みを行う。予約係は予約日時、注意事項等を伝える。

予約内容

ESWL → 結石外来受診日時

画像診断 → 検査実施日時

(2) 受診当日

予約患者は、予約日時30分前に塩谷総合病院中央受付の窓口に来院する。

持参するもの[保険証、紹介状]

画像診断検査終了後→外来会計窓口にて精算

(3) 画像診断の結果報告

画像は放射線診断医が読影し、その診断結果を依頼元医療機関に報告する。(報告書にフィルムコピーを添えて依頼元医療機関に配達する。)

3. 利用料

(1) 医療機器の利用料については、塩谷総合病院側が保険請求をする。

4. その他

(1) フィルムコピーは、無料で作製し報告書に添付する。

(2) 連絡先

住所 〒 329-2145 栃木県矢板市富田77番地

名称 塩谷総合病院 医事課共同利用予約係

TEL 0287-44-1155(代)内線1416

次回理事会のお知らせ

11月30日(月)